

2025年6月5日

各位

株式会社北洋銀行

サステナブルファイナンスおよび GHG 排出量削減目標の新設について

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、気候変動への対応を重要な経営課題と位置づけ、地域社会の脱炭素化をより一層促進していくため、サステナブルファイナンス実行目標および GHG 排出量の削減目標を以下の通り設定いたしました。

当行グループは、北海道の気候変動への対応を進めることで、全てのステークホルダーと地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

記

1. サステナブルファイナンス実行目標 2 兆円(環境関連投融資から名称を変更)

気候変動への対応として脱炭素化社会への移行を支援する「環境関連投融資」の 2021 年度～2030 年度までの累計実行目標 5,000 億円は、2024 年度に累計 5,541 億円と前倒しで達成しました。

これまでの「環境関連投融資」に、北海道における社会課題への解決に資する投融資[※]を加え、「サステナブルファイナンス」として再定義。環境関連投融資と同様に過去実績を含め、新たな目標を 2 兆円に引き上げします。

※社会課題への解決に資する投融資は、半導体関連産業への支援、新産業育成(創業・スタートアップ)、製造業の合理化支援、食・観光への支援強化等

対象	旧目標	新目標
サステナブルファイナンス	2030年度までに5,000億円	2030年度までに2兆円

2. GHG 排出量の削減目標

当行グループの GHG 排出量(Scope1+2)^{※1}の削減目標および、当行投融資先の GHG 排出量(Scope3^{※2} カテゴリー15)の削減目標を新設しました。

当行グループの GHG 排出量の削減に向けた取組みとして、省エネルギー設備への更新やカーボンフリー電力・ガスの導入を進めています。また、当行投融資先の GHG 排出量削減に向けては、脱炭素コンサルティングや Jクレジット創出支援等のソリューション提供を行ってまいります。

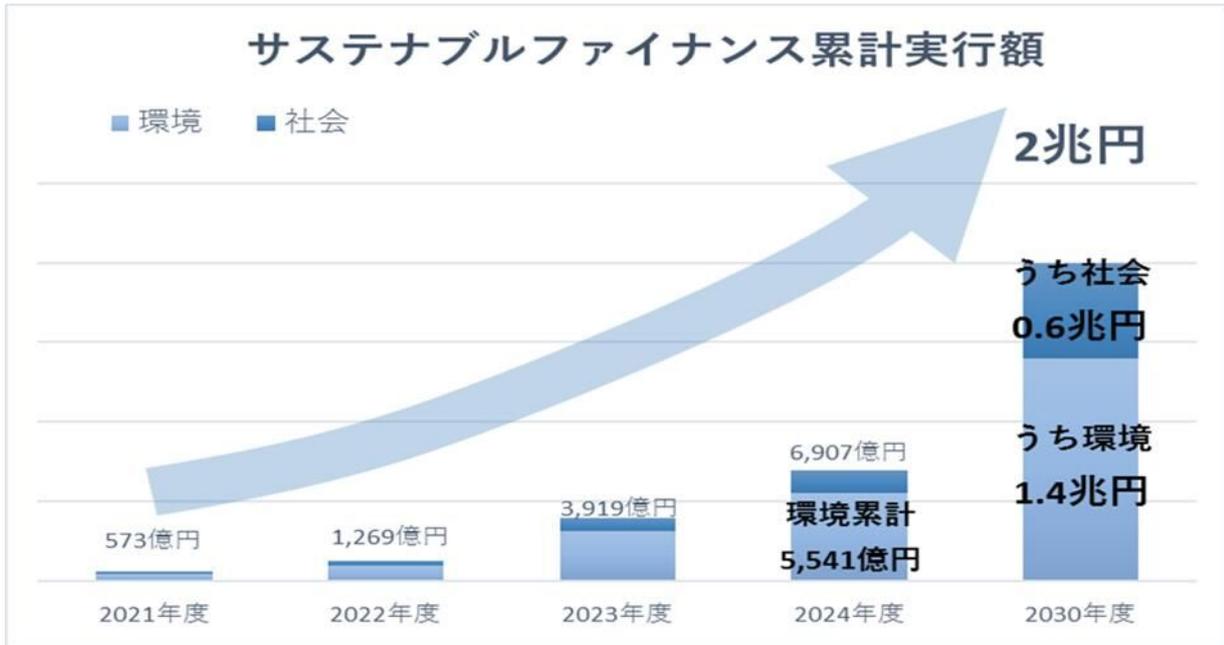
対象	旧目標	新目標
当行グループのGHG排出量	2030年度までに 2013年度対比△80%	2030年度までに 実質ゼロ
当行投融資先のGHG排出量	目標なし	2050年度までに 実質ゼロ

※1 Scope 1 は自社の直接排出、Scope 2 は他社からのエネルギー購入による間接排出

※2 Scope 3 は自社のバリューチェーンで発生するその他の間接排出

以上

<サステナブルファイナンス累計実行額>



※環境・社会ともに2021年度からの累計

<GHG 排出量(Scope1.2 の状況)>

